

松長小学校の今後の在り方に関するアンケート調査について

松長小学校の今後の在り方を検討する参考とするため、7月に松長地区の方を対象としたアンケート調査を実施しました。世帯員全員が記入できるアンケート用紙を世帯に1枚配付し、地域の皆さまの意向をお聞きしました。

そのアンケート結果に関して、まつなが通信（第6号）では掲載できなかった記述式の回答について次ページからご覧いただけます。

【記述式で回答いただいた設問の内容】

- ・松長小学校の今後の方向性について、選択した理由などがありましたらお書きください。
- ・自由意見
（松長小学校の今後の在り方について、ご意見・要望などありましたらお書きください。）

●選択式の設問に関する回答結果は、まつなが通信（第6号）に掲載してありますので、そちらもご覧ください。

記述式による回答： 選択した理由について

●複式学級を選択した理由

- ・複式でやっていけると思っています。先生は大変でしょうが、生徒には問題はないかと思えます。
- ・歴史ある松長小学校の存続ができることを願っています。
- ・小学生は地区で育てていくべきと考える。
- ・松長小学校を存続してもらいたい。まずは保護者（PTA）等の意見を大事にってもらいたい。
- ・どちらにもメリット、デメリットがあるとは思いますが、少人数であることで先生や友達との絆が強くなる。委員会活動等で個性を伸ばしていくことも可能なのではないか。
- ・ランドセルを背負った子供の「おはようございます」「こんにちは」の元気な姿が見られないのは残念だと思うから。
- ・複式学級で教育活動を行ってからの決定で良いのではないか。
- ・保育園が閉園し、続いて小学校まで統合すると、地域のつながりが全くなくなるようでさみしい思いがします。今はコロナで行事がすべて中止、縮小でありませんが、今後コロナが収束して徐々に元の学校行事ができるようになると、子供の力で地域のつながりも活発になり活気も出てくるような気がしますので、小学校は複式学級でも存続を希望します。
- ・一度、統合してしまうと、松長小学校を元には戻せない。複式学級になったとしても、また、元に戻ることは可能である。松長地区の重要な問題なので、令和5年に統合するなど、急いで決める必要はない。令和5年では早すぎると思う。
- ・複式学級だからと言って、学力が落ちるわけではない。まずは、令和5年から複式学級を行ってみて、2～3年、複式学級を行った上で、改めて検討し、やはり、統合した方が良いという意見が多数を占めるようであれば統合すれば良いのではないか。わずか2、3年を急いで決めても良いことはないと思う。複式学級を経験してから、じっくり検討しても遅くないのではないか。まずは、複式学級をやってみる。それからでも遅くはない。
- ・なくなるのはさびしい
- ・複式は先生の負担が大きく児童に目が届かないのではという意見もあるが、統合し20～30人クラスを1人の教師が見る状況が、目が届く状況とは思えない。コロナ禍で授業のオンライン、デジタル化は大きく進んだ。複式で生じるとい

われる実際の授業進行の課題についてはオンライン化を活用し解決策が見出せる。しかし、松長小の素晴らしい特徴である、先生や地域との信頼関係により、児童が安心してのびのびと元気よく、すがすがしく児童が学べる環境は他の何にも代えられないと思う。この素晴らしい子供を育てる環境をなくしてほしくない。

- 子供にとって小学校とはそもそもどうあるべきなのか、という本質的な観点から積み上げて考えていく必要があると思います。メリット、デメリットを単純に天秤にかけるのではなく、あるべき小学校像という観点に照らしてみて、最後にどちらが良いのかという判断が出てくるのだ、と思います。地域、行政双方であるべき小学校像を膨らませ、それに基づいて結論を出していかれると良いと思う。私は、小学校は地域の文化の中にある、という形が良いと思っています。
- 松長小学校をなくしたくない。
- 一人一人、丁寧な対応で教育してもらいたい。
- 統合はやむを得ないと思うが、万全な体制を整えてから統合してもらいたい。令和5年度は早すぎる。
- 今後少子化に向かう学校教育のモデル校であってほしい。
- 地域に学校がないと地域のコミュニケーションに困る。子供、親、年寄りのつながりがなくなり仲良し地域が崩れるかも。
- 松長小は地域の大切なコミュニティの一つであり、松長地区は小学校を中心に地域がまとまり、繋がってきたと思います。小学校が統合され、なくなるということは、地区にとっても大きな問題です。燕市でありながらも市のコミュニティバスの運行もなく、商店もない。車がなければどこにも行けないこの地区は、このまま行けば限界集落になりかねません。私個人の気持ちは、複式でもやってほしいと思います。小学校がなくなるということはどういうことか、もう少しじっくりと話し合う必要があると思います。
- 複式学級でのデメリットを感じないため。学校がなくなることが地域の衰退を加速させるのは明白。そもそも子供たちが統廃合には大反対。
- 時間のない中なので、まずは複式を行い、問題があるなら統合を再検討しても良いと思う。
- 多くの児童がいる中で成長してほしいという思いもある。たとえ複式だとしても、一人一人に目が行き届き、少人数にしかないメリットもあるように思う。複式に抵抗があったが、いろいろ調べているうちに「小さな学校」「複式学級」が学習に与える良い影響（WHOでは学校全体で100人以下を進めている。35人学級なんて日本だけだと知り、そこで考えが変わった。）を知り、一度（1年）試すのも良いと思うようになった。

- ・隣接する学校との統合となった場合、徒歩での通学が困難であるため。
- ・子供が松長小を大好きだから。少人数が気に入っているようです。少人数の方が授業も分からないところがあっても本人が分かるようになるまで先生が付き合ってくれるから。
- ・せっかく松長地区に家を建てて、近くに学校があるのに、統廃合はどうか。子供には松長の良いところを受け継いでほしい。
- ・子供は松長小が大好きとっている。
- ・国の政策でも学級の人数を少なくし、個々への対面でしっかり教える体制になっています。松長は地域密着で少人数でもみんなで支えてきたことで、人への感謝、人への思いやり、周りとの協力する子供が育ったと思います。複式であっても、残すことで地域のバックアップで子供を育てたいと思います。
- ・統合することにメリットを感じないから。
- ・有力統合先の学校に不安があるから。(情報が少ない。登下校のマナーの悪さを耳にしたことがある。中学校での不登校なども。)
- ・コロナ禍により議論が停滞していたにも関わらず、統合に向けた結論を急がされる空気を感じており、納得できない。
- ・「少子化だから学校がなくなっても仕方ないですね」という行政からのメッセージと、それに染められていく同調圧力に屈したくない。
- ・児童に対して関わられる機会が多く、その地域の方々、保護者とも良い関係性ができているため。少人数の良さ、松長地区の良さだと自負しています。
- ・複式学級になるのはR5年度でたしか3、4年生と聞いている。その後の入学予定(1年生)は1学級を存続できるかと思うので複式学級で存続をして再度時期をみて統合を検討することを望む。
- ・規模が小さい小学校であっても、松長小の特性を残し、地域との協力連携を押し進めることにより、教育の質や水準を維持しながら、学校と地域が一体となった魅力的な小学校は実現できるはず。燕市も急速に少子化が進んでいる中、小規模校の行く末が統廃合という結論ありきではなく、長期的、かつグローバルな視座で松長小の将来的な在り方を議論していただきたいと思います。
- ・今まで孫は松長小だったし松長小も長い伝統がある。複式学級でも良いが、統合で今までと違う学校は賛成できない。

●学校統合を選択した理由

- ・人数が少ないのはかわいそうだから。
- ・友達がたくさんいた方が良い。
- ・少人数での登下校の不安。少人数のため、できない授業があるのはどうかと思う。例えば体育のサッカー等、人数がいないとできないものや、グループに分かれて意見をまとめて発表し合う授業など。
- ・住宅団地などを作る予定がないなら統合した方が良い。
- ・長い年月の小学校であり、なくなるというのはとても残念なことだと思います。ですが、小学生が増える確信があれば、複式の方が良いのですが、長い目で見ると、いずれとなれば大勢の中で勉強するのも、子供にとっては環境的に良いと思います。(わが子が小学生の時も、もう少人数の学級でした。現在の状態は分かりませんが、当時赴任の女性教師は産休のためにこの学校に来て(私はそう思いました)終わると別の学校へ。その先生的心情も子供たちの信頼もあつたかどうか疑問でした。
- ・児童数が少なくて先生が目が行き届き、密度の濃い授業を受けられる利点はあるが、卒業すれば他校の多数の児童と一緒になるのであるから、統合して早いうちから大勢の中で授業をしたり活動したりする方が児童のためになると考えます。加えて、燕市で唯一の複式学級ということが、児童の負い目になるのではと心配です。
- ・私の子供たちの時代は、まだ1学級20~30人でとても良かったと思いましたが、これからはもっと少数になるということであれば、統合するしかないと思います。
- ・いずれにしても、この先子供の減少は止められないので、150周年だからこそ、ここできれいに松長を終わらせて、子供たちと親御さんのためにも早く統合の道を開いて、今の自分たちが未来のためにその体制を整えた方が賢明なのだと思う。
- ・生徒数の多い学校でたくさんの友達を作ってほしい。
- ・複式の話聞いて、デメリットしか感じません。令和5年度までに間に合うように統合先を決めてほしいです。同年齢で学習、生活する時間を子供にしっかり持ってもらいたいです。
- ・子供が中学校に行ってもスムーズに溶け込めるように、また、不登校にならないためにも早めの練習と思えば統合はやむを得ないと思う。もちろん、スクールバス等の送迎は必須条件になると思う。
- ・小中川小学校が燕北小学校と統合。今後松長地区の人口が増える可能性がないので。(少子化)

- ・松長小の児童は歩く距離が長いので、不審者や千葉県のトラックの事故などのことを考えるとバスで送迎してもらえると安心できると思う。
- ・うちの孫は複式学級になった場合、集中して勉強できるかが心配なので、統合が良いと思います。
- ・孫のことを考えると統合するなら精神的に不安のないクラス替えのない燕北小あたりが良いと思う。
- ・将来的に減少するため学校との統合が望ましい。人数が少ないと成長しないような気がする。
- ・検討会において、複式が嫌という理由で他の学区の学校へ通うことが可能と返答されていることを考えると、令和5年度に複式学級がスタートした時点で他の学区に移る人が出てくることが予想される。児童数の見込み人数が出されているが、兄弟（上の子）を連れて他の学区に移る人も出てきた場合、松長小の児童数は急激に減少すると考えられる。実際に、上の子を連れて学校を移るといふ声も聞いている。これらを踏まえると統合が望ましいと思う。
- ・長期的に見た場合、統合の方が良いと思う。
- ・いろいろな人と関わることでコミュニケーション能力や向上心などが養われていくと思いますので、統合した方が良いと思います。学校生活の中で私の子供は中学、高校生活の方が充実していたように思います。
- ・少人数で学ぶことのメリットよりも大人数でたくさんのことを学んでほしい。
- ・子供にとって友達が少ないより、多い方が断然楽しい。
- ・複式学級での自習の時間がとてももったいなく感じる。
- ・中学校に行った時の疎外感。思春期に新たに友達を作ったり、溶け込んだりするのには時間がかかる。ならば吸収が早い低学年から一緒になるのが望ましい。
- ・松長地域の住民が増えない限り、小学校の存続は厳しいのが現実。今後、松長地域の活性化が期待できるのであれば問題は別だが。
- ・少子化が解消されずに、今後、将来にわたり複式学級が続くことに対して不安に思っている保護者は多いと思われる中で、近い将来、全学年が複式になることが予想される中での存続は難しいと思うので統合が望ましいと思う。
- ・今後の子供の数を考えると統合するのがベストだと思います。
- ・現状は大人数の方が良いと思います。
- ・このまま人数が見込めない状況に子供がいても、今と何も変わらない。ただでさえ、金管合奏や鍛える活動がなくなり、子供たちが経験できることが減っている中で、少しでも多くの子供たちの中で経験や新しいことを体験させてあげたい。友達の数も増え、より自分に合う友達関係も築いてほしい。
- ・統合することで1クラスでも児童の人数が増し、楽しく学べるのではないかと思います。反対に多少のリスクも増すでしょうが、少人数では活動が限られて

くると思います。

- ・複式になってからの子供たちの勉強の進め方が心配。
- ・小学校から中学校に行った時に、あまりに少ない人数から突然大人数になった時のギャップが心配です。
- ・いずれ統合するのであれば、早い段階で実行した方が良いと思う。
- ・松長小があることで地域が活気づいている面もあると思うので、完全になくしては松長地区が衰退する可能性があると思う。
- ・なくなるのならば、早いうちに統合する方が良い。この先、人数も増えそうにない。
- ・人数が多い方が、友達もたくさんでき、人間関係の勉強にもなるのでは。
- ・複式学級では学力低下になるのではないか。
- ・私の家系はすべて松長小学校を卒業したが、確かに学校がなくなるのは残念ですが、今の時代、他校と統合はある意味仕方ない点があると思います。
- ・現状、将来的にみたら統合ではないか。
- ・少人数の児童より大勢の児童と接することが子供のためになる気がする。
- ・多くの子供たちとの集団生活を経験した方が良い。
- ・複式になっても数年経てば廃校の話が出ると思われるので、今話し合いになっているなら早く隣接する学校と統合した方が良いと思います。
- ・複式学級では学力、人間関係、対人能力の育成といった面で不安が大きいから。
- ・多数の子供の中でもまれた方が良い。
- ・少子化であり統合も仕方ない。
- ・学力は少人数であるため、高い学力が身につく。しかし、子供たちの社会性が成長していくうえで少人数だからか乏しく感じる。
- ・大人数の方が友達の幅も広がり社会性も向上しいろんなことを学び心身の成長が見られると思う。
- ・少数での通学は危険だから。
- ・いつまでも学校は残してほしいが、遅かれ早かれ統合するのであれば子供のためには早い方が良いと思う。
- ・多くの子供と接した方が、友達も作れて良いと思う。
- ・児童が多い方が切磋琢磨できて良いのではないのでしょうか。
- ・社会性やコミュニケーション能力を身につけるためには、大勢の児童の中で生活することが望ましい。
- ・今後子供が増える状態ではない。だから、遅かれ早かれなるのであれば早い方良い。そうなればスクールバスが出るとは思うのですが、夫婦共稼ぎだと時間にその場所へ送り迎えしないといけない、妻が早退しなければいけない、という問題が出てくる。

- ・複式学級に対して、メリットが少ない。現在の松長は、生徒数が少なく、先生方とも良い関係づくりがなっているが、これ以上、生徒数が少なくなるのであれば、統合が良いと思う。複式になったとしても、その先が見えてこない。
- ・松長に通わせたい思いがあるが、複式学級でのデメリットがあり、心配。
- ・複式学級でちゃんとその学年にあった学習内容ができるのか心配だから。
- ・通学バス（無償）があれば統合でも良い。
- ・就学児童数の増加見込みがない。
- ・複式学級になった場合の学習面での遅れが心配。また、大人数の中で人間関係を小学校のうちから学ぶことも大切だと考えます。中学校区が同じ小中川小学校との統合を希望します。
- ・学習指導要領は全国同じだが、学校によって「色」があると思う。同じ勉強内容でも学校それぞれの「色」で子供たちは受け取り方が違うと思うので、1日でも早く「色」になじめるようにした方が良いと思う。統合の場合、新入学の子供は真っ白な状態で入学できるが、在校生は既に「色」で学校生活を送っている。
- ・複式学級のメリットは理解できるが、同学年同士で切磋琢磨したり、競い合ったりなど経験を積んで成長してほしい。
- ・今まで松長小の子ができていた金管だったり、ミニバスだったりができなくなってしまうから。
- ・メリットよりデメリットの方が多そう。
- ・今後、学区内では世帯数及び生徒の減少が予想されると思われます。自分のところでは隣接する学校と統合を希望している。

●その他

- ・少人数であることで、丁寧に教えてもらえたり、学力向上、運動面でのメリットや、反対にできないスポーツなどがあつたりと、良い面、悪い面など子供たちに関わることなので現時点では何とも言えない。
- ・松長小学校の複雑な問題の中で、お子さんたちはどのような気持ちで登校されているのでしょうか。結論はまだですが、大丈夫だよ、安心して学校へ行ってらっしゃいという、お子さんが楽しく一日過ごせるよう保護者の方に希望します。少しでも不安があればお子さんの心のケア等、大人の接し方も大事なのではないのでしょうか。市の方針も支援という意味において曖昧に感じる。
- ・親は統合を希望しています。でも統合になると子供の姿が見られなくなるのがさみしくなる。私は複式が良いが、親の味方もしたい。

- ・①（松長小学校での複式学級）、②（令和 5 年度に隣接する学校と統合する）とも数年後の現実的な選択肢であるが、話し合いは始まったばかりであるのももう少し再考が必要である。
- ・150 年の伝統ある学校が、子供の母校が、なくなってしまうのは残念という思いと、この節目に閉校すべきという思いと入り交じって、どちらとも決断できません。
- ・年寄りには学校を残したいし、若者ほど統合を望む傾向にあります。
- ・それぞれの小学校にも個性があり多様性があっても良いじゃないですか。
- ・これから入学する世帯や、複式学級に該当する世帯の意見を中心に検討材料として考えるべきと考えます。
- ・人数は多い方が良いと思うが何とも言えない。
- ・今現在、松長小に通う子供が家族にいないので、建設的な意見が言えません。いい加減な気持ちで意見を言うのも失礼なことだと思うので。
- ・時代によっても、環境によっても、状況も考え方も変わるので、多数の意見に同意すると思います。
- ・小学校は地域のものであるかもしれませんが、やはり親、子供たちのものだと思います。学びやすい場所、心あたたまるところであるために地域が手助けしなければならぬと思いますが、親が子供と話し、役員に任せるだけではなく前向きに意見を言った方が良いと思います。
- ・詳しい内容が分からないので。
- ・松長小学校を残しておいた方が良いと思う。
- ・歴史ある松長小学校を複式学級になるからと統合するのはどうかと思うが、統合するのであれば、スクールバスや諸事情をクリアできるまでは統合すべきではないと思う。
- ・登下校のスクールバスを走らせてもらいたい。
- ・基本的には統合ですが、いろんな意見があることも承知していますので、いずれに決まっても従います。
- ・子供（赤ちゃん）がもう少し増えるかもしれないから。
- ・学校がなくなると子供も人も少なくなるのでなくなる方が良いと思います。地域も活気がなくなると思います。
- ・住宅団地をもう 1 か所増成して若い夫婦に住んでもらう。そうすれば地域も発展すると思います。
- ・子供が松長小を卒業してもう何年も経っているのでどちらともいえないが、この問題をどうするか決める時に、現在の、また、今後の松長小の保護者世代の意向はある程度加味して納得する形で、複式にするのか統合にするのか決めてほしい。

記述式による回答：自由意見について

●複式学級に関する意見

- ・学校がなくなると地域はますます衰退すると思います。
- ・廃校すれば、よほどのことがない限り再び建設はないでしょう。
- ・小学校は地域のためには必要な場所であり、子供たちを中心にして学校行事を地域の方と進める。そんな大事な学校は決してなくしてもらいたくない。
- ・複式学級に決定したとしても、少人数校を生かした学校づくりをするためのバックアップを市からは行ってもらいたい。
- ・複式にするなら補助員をつけ、きちんとした教育を受けさせてもらいたい。
- ・複式学級を2～3年行ってから、やはり統合の意見が多かった場合に「統合するか」「統合しないか」を改めて検討するのが無難であると思う。
- ・複式学級になっても手厚い指導を望みます。
- ・複式学級に頑張っていたきたい。
- ・人口問題や児童数は時の流れ（経済などの影響）を受ける。
- ・複式学級で認可などの出ない場合は、統合もやむを得ないと思う。
- ・とにかく地域に学校を残すことにしてもらいたいです。
- ・小学生のお子さんをお持ちの保護者の気持ちは十分理解しているつもりです。今は、学校以外で塾や習い事、スポ少などで学区外の友達関係を作ることもできます。そういったところでサポートしたりしてみてもと思います。
- ・耐震補強済み、エアコン完備、地域の人に見守られながら登校してソーシャルディスタンスもしっかり保てる、このような安心安全の教育環境を自ら手放すようなことはとても賢明とは思えない。
- ・過去、数年前に松長小で複式を行った年があったと聞いた。その際、特に支障はなかったと保護者からも聞いている。複式でも十分な教育ができるということをもっと伝えてほしい。
- ・複式の学校が何校か新潟にあるとのことだが、市はもっと複式学校の情報（特色、どのように地域と連携しているか）を教えてほしい。
- ・昨年、話し合いが行われませんでした。今の段階で、まだ何も決まっていないのでは、令和5年度の統合に間に合わないのではないのでしょうか？該当児童がいる保護者も、子供がいない世帯も、長年住んでいらっしゃる方も、よそから来た方も、みんながある程度納得できるよう結論が出せるまでは統合は急がなくて良いのではないのでしょうか？私は「よそ者」です。15年前ほど前に団地に来ました。当時は長所保育園もあり、上の子は卒園生です。あの頃の子供た

ちは、もう大学生、高校生になりましたが、保育園がなくなり、さらに小学校までなくなったら、結婚してもここで子育ては難しいと思うでしょう。このまま何も対策しないで、若者が帰ってこられないと、山間部でもないのに限界集落になってしまうのではないかと不安に思います。この地域のみなさん、団地も長所、舘野の方々も本当に良い方が多く、「地域で子育てをしている集落」だと心から思います。下の子は松長小に通っていますが、毎朝見送りをしてくださる方々にどれほど助けられているか。本当に感謝しています。時々一緒に歩くと、帰り道で子育てのアドバイスをいただいたり、相談に乗っていただいたりと、私自身も助けていただいております。こんな素敵なコミュニティが衰退してってしまうかもしれない小学校の統廃合には、やはり慎重にならざるを得ません。

- ・学校がなくなると若い人たちがどんどん外に出ていく。人がいなくなる。学校があれば子供ができた時に帰ってくる人もいる。
- ・統廃合してしまったら子供もいなくなってしまう。将来過疎が進むのではなく、今起きているので、どうやって子供がいる家庭に来てもらうか考えてほしい。そのうえで松長小がどういう方向に向かうか見極めたい。
- ・少なくとも複式学級ができるうちは存続させてほしい。
- ・燕市全体の学区を見直すことで存続させてほしい。西小以外はみんな人数が減っており、中学にいたっては北中が少なくなりました。学区を変えることで通学距離の問題があり、そこは市でスクールバスを準備し、その問題を解消するべきです。もし統合するのであれば、この問題は必ずクリアしなければなりません。

【複式学級での存続とした場合の今後の対応について】

- ・松長小学校を存続としたのち、地域から他校との統合を再度検討したいとの意向が示された場合、「どのような形で地域の意向を燕市当局に示せば良いか」「検討委員会の事務局を教育委員会は努めてもらえるか」「統合決定から統合実施までに必要な期間はどれくらいと見込めるか(または地域からの検討の意向が示されてから実際の統合までの期間はどれくらいと見込めるか)」をお示しいただきたい。

【「まつなが通信第5号」の検討委員会の付帯決議についての要望】

- ・複式学級を実施するにあたっては田井小学校のように加配の教員や補助員が必要と考えるが、県の教員枠による人員の配当ができなくても、燕市単独で補助員（教員免許の有無を問わない）を確実に配置してもらいたい。
- ・「コミュニティスクール」化には反対します。日々の登校班の活動など、松長

の地域と松長小学校が切り離すことができない要素であることと、コミュニティスクール化しても複式学級の回避が確実にになるとは限らないからです。なお、現在も（まつなが通信第4号3ページによると）学区外就学の制度に基づき、学区外の小学校を希望することは可能です。

- ・「少子化による児童数の減少」は松長地区に限った話ではないはず。にもかかわらずこの地区だけ「統合か複式か」の分断を作っている行政のやり方に不満がある。小規模校が過小規模校になるタイミングで、その都度、各地区に分断を作り出すつもりなのか？市全体での学校の在り方を論ずべき時なのではないか？
- ・松長小学校はこの地域で100年以上の歴史を持ち子供たちの教育や文化、コミュニティの中心として大切な役割を担ってきました。人口減少は燕市にとって大きな課題であり、それぞれの地域の将来にとっても存続に関わるテーマです。小学校だけの問題として取り扱われるのではなく、燕市と住民が教育や人口問題について積極的に向き合い、地域の将来ビジョンを共に描いていくことが長期的な打開策となると考えます。

●学校統合に関する意見

- ・昔の先生（特に松長小学校）は、児童と触れ合う時間をそれなりに多くとってくれたと思いますが、今の時代は、雑用や父兄との対応が多く、先生の負担が多くなり（複式になれば）子供たちに目が届かなくなると思います。統合は、仕方ないと思います。
- ・スクールバスで隣接する学校へ。
- ・複式学級が望ましいが、子供の人数がさらに減り、将来的に継続することが難しくなれば、柔軟に統合も考える必要が出てくるかもしれない。
- ・私立中や燕中等に進学する児童もいることから、燕北中学校区にこだわらなくても良いと思う。学年1クラスの燕北小と統合し、新たな学校像を描くことはできないだろうか？
- ・統合後の学校の建物はできれば規模を縮小しても何らかの形で残してもらいたい。体育館は今まで通り地域の方たちのスポーツの場として。桜がきれいなので、例えば、松長小記念公園として合宿所やキャンプ場として利用できないものでしょうか。
- ・統合するなら早くした方が良いと思う。何故、令和5年度と決めるのですか。
- ・友だちもいっぱい増えた方が良いから統合はした方が良い。
- ・昔の人の話より今の人の話を優先にした方が良いと思う。

- ・何をするにもボランティアの数が集まらず、今でも大変なのに複式になったら水泳など、できなくなる可能性が出てくると思う。(運動会なども同様に。)
- ・子供たちの将来を一番に考えてほしい。
- ・地域のために子供を犠牲にして複式学級を押し付けるのは違うと思う。試しにやってみる案もあったが、失敗した場合、その時間は戻ってこない。
- ・子供のための学校であって、地域のための学校ではない。建物の再利用など、地域活性と統廃合の話は切り離して議論すべき。
- ・新規学校の建設を期待している。
- ・統合に決定した場合、跡地利用が松長地域のために有効活用できることも併せて考えなければと思います。(例：福祉介護施設、医療施設、商業施設など)
- ・統合の場合、バスでの通学の希望、なかまの会を今まで通り松長公民館でお願いしたい。統合先の見学や説明会もお願いしたい。
- ・統合する時は、学校の名前を新しくするか、松長の名前を入れてほしい。
- ・遅かれ早かれ統合するのだから、計画通り令和5年にしてほしい。
- ・中学校で一緒になることを考えたら、早く統合して子供たちが慣れることが良いと思います。たくさんの人の方が、考え方も友達も広がると思います。
- ・今はもう少しこのままでいてほしいと思いますが、私も小規模小学校から中学校に行った時、中学校になじむのに時間がかかった思いが今でもあります。複式学級での学力等を考えると早めの統合も良いと思います。
- ・今回、急いで統合に決定する場合、どうしてそのように決定したか、その根拠を含めて、松長地区の住民が納得できるように、しっかりと説明してほしい。
- ・もし統合になっても、地域とのつながり、子供たちの地元への愛着がなくならないようなものになってほしい。
- ・仮に統合となった場合、体操着の変更や保護者の負担となりうることの説明が必要なのでは。子供の安全が最優先、統合になればスクールバスでの通学の可能性が高い、事前に説明してほしい。
- ・私たちの母校なので廃校は残念ですが、子供の数や将来を考えた時に、教育機会の公平のために他と統合して学校行事等ある程度の規模で催してほしい。
- ・仮に統合した場合のスクールバスについて、子供が毎朝歩くことで体が育つ、というメリットを強く感じています。通学をすべてスクールバス、というのは反対です。
- ・仮に統合した場合はスクールバスの運行が望ましいと思います。
- ・統合の場合、小学校校舎は、体験型の子供交流の場として活用できたら良いのではないかと思う。
- ・進展しない話し合いを繰り返すのであれば早めの決断をお願いします。複式学級にしてまで存続させる必要はないと思います。

- ・松長小は、もともと地域の協力が強い地区だと思います。今後も協力していけるなら複式でも問題ないと思いますが、保護者と地域が協力できないなら統合に向かうしかないと思う。
- ・コロナもあり、今は統合や廃校のタイミングではないと感じた。もう少し先延ばしできないのか。
- ・人数が少ないという原因で授業内容に制約がかかるのではないか。
- ・2年、3年の複式のことだが、2年、3年では学習内容ががらりと変わると思うが、結局は学年ごとで学習するのか。(例えば、2年では生活があり3年では理科がある。その辺の配慮はどうなるのか。)
- ・もし統合すると仮定した場合、3校のうちどの学校と統合するのが望ましいか理由を含めてアンケートをとってほしい。勝手に統合先を決められてしまうのは反対です。

【統合先に関する情報提供について】

- ・統合した場合の松長小学校出身児童の学習面のメリットは何か教えていただきたい。一般的には、1クラスあたり十数人から三十人強になれば、教員一人当たりの見取りが減り、統合のメリットは少ないと思われる。
- ・燕北小学校や吉田北小学校と統合する場合、進学先の中学校区が異なる学校との合併となる。一方、小中川小学校は中学校区の考え方から統合先としてごく自然である。その中で、燕市が燕北小学校、吉田北小学校を統合想定先としてあげる理由は隣接学区以外の理由がなく不自然である。また、小中川小学校は最も有力な統合想定先でないとしたら、その理由は何かお示しいただきたい。
- ・最も有力な統合先と見込まれる小中川小学校の情報について提供いただきたいとの意見に対し、7月2日のPTA説明会において市当局より「ホームページによって情報提供したい」との回答があり、7月7日付けでホームページによる情報提供があったことは承知している。ただ、学校だよりについては、年度初めの2回であり、少なくとも通年を通した学校の様子や、保護者アンケートや自己評価などによる学校の様子についても保護者は知りたいと考えている。特に保護者アンケートはグランドデザインにおいて評価項目にもなっており公表可能な数値、項目もあると考える。松長小学校の在り方を決定する前に保護者一人一人が十分に検討し意見を表明できるよう、統合想定先の学校情報が的確に伝わるよう市当局で取り計らい、速やかに情報を公表し地域に広く周知願いたい。(燕北小学校や吉田北小学校も同様の公表をお願いしたいが実際の統合可能性は皆無なため、少なくとも小中川小学校分について保護者に万全の周知を願いたい。)
- ・小中川小学校の地域住民、保護者は統合についてどのように考えているのか、

調査して検討会に報告していただきたい。先方で強い反対意見がある中では統合しても軋轢が生じるだけであると考え。 (個人的には検討会での検討材料までとし、結果の公表までは不要と考えます。)

【「まつなが通信第5号」の検討委員会の付帯決議についての要望】

- ・スクールバスについては、遠距離であることから通年の運行をお願いしたい。
- ・下校時のスクールバスについて、各家庭で(保護者の迎えが必要などの)負担が生じないよう、同一方面であっても一日複数回の運行を行える制度とするようお願いしたい。また、スクールバスを待つ間の児童管理の都合で、本人が希望しない放課後活動や児童クラブなどに参加させられることのないように配慮願いたい。
- ・スクールバスについて、事故や運行遅延時は遅滞なく保護者に連絡できる方法について、市教育委員会の責任で体制を整備してほしい。また、児童の欠席やバスの定刻に遅れた場合の連絡方法について、保護者にとって簡便な方法をお示ししてほしい。
- ・スクールバスの運行が想定される区間のうち、特に長所から燕中等までの県道と燕中等から小中川小学校までの道路は、冬季の降雪時は除雪が滞り道幅が狭くなるのがこれまでもたびたびあった。児童の学習機会を保障するために、スクールバスの経路となる道路は市において最優先で運行確保していただきたい。またその確約を市当局(または関係自治体当局)からいただきたい。
- ・スクールバスの運行にあたっては、地域または保護者に負担を求めないよう、市当局において仕組みを整えられたい。やむを得ず負担を求める場合は、市内他校や近隣市町村の例を事前に検討会などに示したうえで、他の例を越える負担にならないようお願いしたい。(負担とは、金銭やボランティア拠出の求めなどを想定しております。)
- ・「松長のなかまの会」については、統合後は廃止が適当と考えます。統合したからには、統合後の学校の児童同士で過ごすのが適切だと考えます。
- ・統合後の「松長のなかまの会」に代わる小中川の児童クラブの費用負担について、「松長のなかまの会」より大幅に変わることはないよう、市当局にて検討願いたい。
- ・統合後の松長小学校の校舎については、地域の活動を行う施設や避難所としての活用が望ましいが、その際は市が責任をもって維持、管理してほしい。
- ・統合後の松長小学校の校史資料、卒業記念作品等については、地域の住民の思いに沿う形でできる限り旧松長小学校に残し、市が責任をもって整備、維持、管理してほしい。また、法令上、統合先学校に移管する必要がある資料についても、統合先学校で安易に廃棄されないよう、具体的基準を設けるなどの配慮

を願いたい。

- ・統合後の松長小学校の教職員の多くが統合先学校に異動するよう、市当局は強く県に働きかけてほしい。特に鈴木主幹においては、前任での知見を活かし、異動について結果を伴う働きかけをお願いしたい。また、統合先学校の教職員が松長小学校の児童の様子、地域の状況、歴史などを知る研修機会を設けてほしい。

【他・統合となった場合に関する意見】

- ・松長小学校が廃校となれば、廃校に関する行事開催や記念碑設置、記念誌作成などの様々な要望が出てくると考えられるが、地域からの要望はすべて叶えていただけるよう市当局をお願いしたい。統合決定後においては、お手数であるが市当局は関係事務を滞りなく行えるよう十分な職員を配置するよう、また住民に（あらゆる形の）金銭的な負担を求めないよう関係費用も市において確実に確保されるよう願いたい。
- ・統合するにあたり新たに購入する学用品等の費用負担を生じないよう（または負担が軽減するよう）市当局で検討いただき、具体策をお示しいただきたい。留意してもらいたい点としては、松長小学校の学用品等の継続使用を認めるだけでは十分とは言えないということである。例えば体育の時間などにおいて松長小学校の体操着の着用が可能であったとしても、多数の統合先学校の児童からは、（職員等が十分な注意、指導を行ったとしても）奇異な目で見られる可能性がある。このような事態を回避するため、保護者において統合先学校において新たな学用品購入等の負担を強いられる事態を危惧しております。
- ・松長小学校特有の行事については、地域のことを学ぶ観点から、統合後も存続できるよう十分配慮してほしい。ついては松長小学校で行っているが統合学校先で行っていない行事がある場合は、統合先学校の行事の精選し、松長小学校特有の行事を残す用意取り計らい願いたい。そのうえで、やむを得ない事情で残せない行事がある場合は、あらゆる手段を検討したが行事をやめざるを得なかった理由を地域に明示してほしい。
- ・松長地区の住民が統合先学校の教育事情を知るために、当面は学校だよりを松長地区においては全戸配布するようお願いしたい。
- ・松長地区の住民の意見を統合先の学校の教育活動に反映するため、少なくとも統合後5年間は学校評議員に松長地区の住民を複数名参加させるなど、校長の推薦時より松長地区の住民が意見を述べられるよう配慮するとともに、設置者において委嘱される時にその旨留意願いたい。また、学校評議員の会合を十分に開催願いたい。
- ・統合決定した場合は、松長小学校において事務作業が大きく増えることから、

現任の教職員の負担が増え、日々の教育活動が十分に行えなくなることに保護者として不安を感じる。ついては、統合決定した場合は速やかに専属の常勤職員を松長小学校に加配し、関係事務について現教職員に追加の負担が生じないように配慮してほしい。その際、万が一にもあってはならないが松長小学校の教員数が定数を満たしていない場合は、指導主事を派遣するなど速やかに教職員の人員を確保してほしい。

- ・統合する場合は送迎バスとすること。

●その他

- ・早くアンケートを回収しその結果を公表して前進してください。
- ・地区内の小学生の環境が変わるので、現、将来の子供たちのハード、ソフト両面の準備が最重要である。
- ・在学の子供のいる、またはこれから通う若い世帯の意見を最も尊重したいと思っています。
- ・無気力のまま大きな学区に飲み込まれるのではなく、各自治会をはじめ、改めて一からみなさんで考えて松長地区を、子供たちを良い方向に導きたいと思えます。
- ・未来の人たちに任せます。
- ・松長がなくなってしまうのは残念だが、今のところ公民館も残る方向のようだし、実際に地域の方が小学校に関わっているのは一部のような気がする。地域の方の意見も大切なのは理解しているが、まずは子供たちの未来を、今の子供たちの現状をもっと理解してほしい。複式になるのであればもっともっと地域の方々のボランティアを必要とする場面もあるだろうし、残したいのであればもっと協力してほしい。
- ・松長小学校を中心とした地域の活動を通し、心豊かな松長の子供の成長を願っています。
- ・できる限り学校として残してもらいたい。
- ・小学校がなくなると寂しいです。
- ・難しい問題です。これから、小学校に通わせる保護者の意見を聞きながら慎重に方向性を決めなければならないと思います。松長小学校がなくなるのは寂しいことですが、少子化の問題はどここの地域でも大変な問題として受け止めていかなければと思います。
- ・松長小学校がなくなるのはさみしいですが、他に有効活用できる施設を考えていただきたいです。
- ・小学校をなくしたくない。

- ・複式にするにしても統合にするにしても、話し合いに本腰を入れるのが遅かったように思います。今後の話し合いに期待します。
- ・スクールバスの運行をお願いしたい。
- ・児童が一定数集まったら、また再開校してもらいたい。
- ・「統合するか」「統合しないか」というアンケートなら答えやすいが、複式学級を経験してもいないのに、「複式学級が良いか」「統合が良いか」など答えられないし、そもそも決められないと思う。決定する検討委員会の人たちも、責任をもって決められないのではないかと思う。
- ・小学校が統合することで公民館の存続はどうなるのか不安です。公民館の存続を強く希望します。
- ・登校時の児童数の少なさにはさみしさしか感じません。昭和の頃のにぎやかだった時代に戻れたらと思います。残せる手立てに期待しています。
- ・少人数、地域とのつながりが松長の良いところだったので、残してほしいのが現時点の希望。
- ・あまり先延ばしにせず、早めの決断をした方が良い。
- ・三方崎保育園や認定こども園真学園に通園している子供さんには、燕北小学校との合併が良いのでは。中学校進学を考えると燕北中学校より燕中学校が良いように思います。
- ・スクールバス時間調整のためにも学童保育の設置をお願いいたします。
- ・どちらにせよ子供最優先ではあるが、親と地域の負担も考慮して決めてください。
- ・なるべく続けていってもらいたい。
- ・通学路に防犯カメラを付けてください。
- ・統合も良いが、人数が大勢いる中でのいじめ問題が心配。どちらかという、松長で通い、学習支援員を配置された環境で通わせたい思いが強い。
- ・アンケートを在り方検討会で集計し、どのように最終的な答えを出すのか。結局、多数決という決め方になるのか。
- ・令和 4 年までに決定という期間がとにかく短いと思う。すぐには決められない。市からの圧を感じる。
- ・かつて通っていた子供たちの意見も我が家では様々で、中学になってから大規模学校で学ぶ大変さも知っているのも、小学校のうちから小中川小の子と一緒にの方が良いかもと言っている子もいれば、先生方にとっては、学習を教える面では負担など大変かもしれないが、児童にとっては他学年との仲を深めることもできるし、徒歩通学で学校周りの情景をよく見る時間も増え、思い出を作る機会の時間でもあったから重要という意見もあった。
- ・松長小としてそのまま運営してもらえるのが望ましい。